

研究課題：

公益社団法人日本麻酔科学会会員施設を対象とした周術期肺塞栓症例データ登録を用いた疫学研究

はじめに：

公益社団法人日本麻酔科学会では、2002 年以降、日本麻酔科学会麻酔科認定病院 (<https://anesth.or.jp/users/common/search>)で麻酔管理を受けられた患者さんを対象に研究を実施しております。内容については下記のとおりとなっております。

尚、この研究についてご質問等ございましたら、最後に記載しております[お問い合わせ先]までご連絡ください。

1. 研究概要および利用目的

日本麻酔科学会では、麻酔に関する安全の確保と質の向上を目的に手術等で麻酔管理を受けられた患者さんを対象として、肺血栓塞栓症およびその原因となる深部静脈血栓症に関する情報を収集して解析を行っています。これまでの事業から、麻酔の安全を示す指標を麻酔科専門医等と共有し、また、診療ガイドラインの策定への資料提供を行うなど医療の安全と質の向上に寄与してきました。

このたび、2020 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日までの期間に日本麻酔科学会麻酔科認定病院にて麻酔管理を受けられた患者さんを対象として、周術期に発生する肺血栓塞栓症やその原因となる深部静脈血栓症の発生についての経年変化や、リスク因子を調査することに致しました。

2. 研究期間

この研究は、倫理委員会承認後～2026 年 12 月 31 日まで行う予定です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

①年齢、②性別、③病名、④術式、⑤手術時間、⑥麻酔方法、⑦危険因子の有無、⑧深部静脈血栓症および⑨肺血栓塞栓症の情報、⑩診断、⑪治療の有無、⑫診断から手術までの日数、⑬治療の種類、⑭術前、⑮術中、⑯術後の実施予防法、⑰再発の有無および⑱その詳細、⑲抗凝固薬使用時の合併症の有無、⑳転帰㉑IVC フィルター使用した場合の抜去の有無

4. 研究機関

この研究は以下の研究機関と責任者のもとで実施いたします。

代表研究機関

公益社団法人日本麻酔科学会

研究代表者

小坂橋 俊哉（日本麻酔科学会 理事長、東京歯科大学市川総合病院麻酔科）

5. 外部への試料・情報の提供

日本麻酔科学会麻酔科認定病院から日本麻酔科学会へのデータの提供は、匿名化と暗号化の上、患者さんが特定できない状態で行います。

6. 個人情報の管理方法

プライバシーの保護に配慮するため、患者さんの情報は直ちに識別することができないよう匿名化して管理します。収集された情報や記録は、インターネットに接続していない外部記憶装置に記録し、日本麻酔科学会の鍵のかかる保管庫に保管します。

7. 研究へのデータ提供による利益・不利益

利益・・・本研究にデータをご提供いただく事で生じる個人の利益は、特にありません。

不利益・・・麻酔記録からのデータ収集のみであるため、特にありません。

8. 研究終了後のデータの取り扱いについて

患者さんよりご提供いただきました試料や情報は、研究期間中は日本麻酔科学会において厳重に保管いたします。ご提供いただいた情報が今後の医学の発展に伴って、医療の安全や質の向上に新たな重要な情報をもたらす可能性があり、将来そのような研究に使用することがあるため、研究終了後も引き続き日本麻酔科学会で厳重に保管させていただきます。（保管期間は最長で5年間です。）

なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、医学倫理委員会の承認を得た後、情報公開文書を作成し公示します。

9. 研究成果の公表について

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合には、患者さんを特定できる情報は利用しません。

10. 研究へのデータ使用の取り止めについて

日本麻酔科学会へのデータ提出時までにはいつでも可能です。取りやめを希望されたからといって、何ら不利益を受けることはありませんので、データを本研究に用いられたくない場合には、下記の[問い合わせ窓口]までご連絡ください。取り止めの希望を受けた場合、それ以降、患者さんのデータを本研究に用いることはありません。しかしながら、同意を取り消した時、すでに日本麻酔科学会へデータが提出されていた場合には、患者さんのデ

ータを特定することができずデータを廃棄できない場合もあります。

11.当院での研究担当者

研究担当者：石田佐知

研究施設名：埼玉県立小児医療センター 麻酔科

12.お問い合わせ先

研究に関するご質問などがありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。

埼玉県立小児医療センター

医事担当（代表 048-601-2200）